

令和2年度子ども・子育て会議（書面開催）における質問・意見等について

◆議案第1号 香取市子ども・子育て支援事業計画実施状況及び進捗状況について ①地域子ども・子育て支援事業 ②次世代育成支援行動計画

委員名	事業名 (所管課)	質問・意見等	回答
額川委員	①P7 地域子育て支援拠点事業 (子育て支援課)	地域子育て支援拠点事業について「その様な支援の場があることを知らない」「聞いたことがあっても自分が言ってよい所なのか」「どういう所なのか」「無料なのか」「どのように行けばよいのか」「どうやって情報を得ればよいのか」などといった質問を保護者の方からよく受けます。特に第一子、0～2歳のお子さんを持つ保護者の方からの相談が多く、一番支援を必要としている所に情報が伝わっていない印象を持ちました。見込数に対して実績が十分にあるように思えますが、実際には同じ親子が複数の施設に登録しており、どこ施設でも顔を合わせるのはいつも同じメンバーだったりします。そういった部分で情報の偏りがあると感じています。定期健康診断時等に案内をされていると思いますが、特に第一子の保護者の方へは丁寧かつ分かりやすい案内が必要かと思います。	さまざまな広報媒体を活用し、事業の周知を積極的に行います。また、利用者支援事業による子育て支援員と拠点施設の連携を密にし、新規対象者の利用につながるよう努めます。
平塚委員	①P9 病児保育事業 (子育て支援課)	病児保育が対応できるようになって良かったです。	ファミリー・サポート・センター事業での軽度な病児預かりとともに、対応を実施していきます。

◆議案第2号 第2期香取市子ども・子育て支援事業計画実施状況及び進捗状況について ①地域子ども・子育て支援事業 ②次世代育成支援行動計画

委員名	事業名 (所管課)	質問・意見等	回答
藤木委員	①P5 養育支援訪問事業 (子育て支援課)	香取市が力を入れて取り組まれていることが、数字として表れていると感じます。養育支援訪問事業で、R1年度・2年度ともに見込みを超えているので、もう少し高くしてもよいと思います。例えば、60位にしていかがでしょうか。	H31年度に子育て世代包括支援センターが開設され、療育支援相談等に対応できる体制が整備されてきました。児童数が減少傾向のため、実人数は50人程度で推移する考えでしたが、実際には実人数が増加していますので、現状を踏まえR2年度以降60人と修正します。
平塚委員	①P6 子育て援助活動支援事業 (子育て支援課)	ファミリーサポートセンター事業の今後はどうなるのか。	ファミリー・サポート・センターは、新型コロナウイルス感染症が拡大した影響により現時点で利用実績はありませんでした。事業の実施には依頼会員と提供会員の健康と安全を守り、安心して活動が行われるようご協力をいただくことで、お子様の預け先等の相談に応じています。 本事業は、保育事業及び学童保育事業を補完する身近な地域による子育て支援事業として位置付けているため、今後も会員の拡充を図り相互支援活動を支援します。

委員名	事業名 (所管課)	質問・意見等	回答
圓藤会長	②P2 障害児保育事業 (子育て支援課) (社会福祉課)	職員に対する研修だけではなく、保育所等において障害児を受け入れた場合の、保育士等増員の制度を整備していただきたい。現在の香取市の対応は十分ではなく、増えている障害児に対する保育士等の対応が出来ず、保育現場に対応を押し付けている状況にある。	近年、障害や気になる行動の見られる児童数が増加し、障害児保育の必要性が高まっていますが、保育士が不足している状況です。最近では保育士の処遇改善や就業継続支援などの対策がとられていますが、解消には至っていないことから更なる改善や潜在保育士に向けたPRなどにより保育士の確保を図ります。 また、障害児の入所については、今後の施設の統廃合や公立保育所の役割を明確にしたうえで検討します。
永井副会長	②P3 認定こども園の整備 (子育て支援課) (教育総務課)	認定こども園の整備にあたり、人口の推移状況や新型コロナウイルスによる社会情勢の変化、保護者のニーズをきめ細かく調査して、計画自体を一旦立ち止まって検討するべきであると思う。「予算計上したので箱ものを建設した」のでは、将来の財政負担が増大するだけ。長期的なビジョンに基づいて、若い世代をどのように香取市に招き入れ、将来を担う人材を育てていくのかがなければ、出生人数がどんどん減っている中で、新たに公立のこども園を作る意味がない。公立小学校で1クラスあたりの人数を減らすことが決定された中で、乳幼児を1か所に大勢集めて保育・教育することは時代の要請に逆行しているとともに、特に感染症のまん延にもつながりかねない。このような様々な観点から、もう一度計画を根本から見直していただきたい。	公立幼稚園・保育所の大半で老朽化が進んでおり、安全・安心な環境の充実に図るため早急な対応が求められています。また、小学校就学前の子どもの保育と教育に関するニーズが多様化している中で、需要に応じた環境の整備やサービスの充実が必要であることから、公立保育所・幼稚園の適正配置を検討し、再編・統合による整備を進めています。なお、整備にあたっては公私が連携した民設民営による施設とし、今後の教育・保育の必要量を見極めながら、詳細は事業実施予定者と市が協議のうえ取り決めにいたします。
平塚委員		佐原認定こども園の整備が進んでいるようで良かったです。	
額川委員	②P5 佐原駅周辺地区 複合公共施設整備 (企画政策課) (子育て支援課)	かねてより「雨天時にどのように過ごせばよいのか分からない」「行く場所がない」といった相談を受けることがよくありました。室内でも子供達が体を動かせる場が施設内に出来ることを多くの保護者の方が望まれていると感じます。	複合公共施設内には子育て世代支援施設として「屋内多目的広場・集会室・遊戯室・一時預かりスペース・授乳室」など、子どもが天候に関係なくのびのび遊べる場を整備予定です。
勝田委員	②P10 心身障害児福祉手当 (社会福祉課)	《事業内容・今後の方向性の内容の記載について》 ・身体障害者手帳3級以上→1級～3級 ・療育手帳B-1以上→㊸～Bの1又は㊸、Aの1、Aの2、Bの1 「以上」＝「より重度」が正確な表現だと思いますが、「重度」を使うよりも判定を入れた方が柔らかなイメージがあると思いました。また「千葉県療育手帳判定制度実施要領」によると判定の記載はアルファベットの後ろに「の」が入るので「Bの1」という表記が適当だと思いました。	内容について、該当する判定をすべて記載するように修正致します。 ・身体障害者手帳3級以上→1級から3級 ・療育手帳B-1以上→㊸、Aの1、Aの2、Bの1

◆議案第3号 保育所等の利用定員（案）について

委員名	質問・意見等	回答
	質問・意見等なし	

◆その他

委員名	質問・意見等	回答
多田委員	こども園等の再編・統合の見通しはいかがでしょうか。	少子化が進行している中、保育施設の利用者は、平成30年度から減少に転じてきたことから保育所等の少人数化が進むことが推測されます。 また、建築後40年を越える施設の状況から安全性の確保のため大規模修繕や建て替えに伴う統廃合を積極的に進める必要があります。 保育所等の再編・統合は、今後の保育需要や集団保育の必要性、施設の効率的な運営などの観点を踏まえ、公立保育所等の統廃合や民営化を推進します。
圓藤会長	コロナ禍により全国的に少子化が予想される。出生数の急減及び保育ニーズの減少が計画には盛り込まれていないことから、急激な少子化の加速に対する施策を検討していただきたい。特に民間保育施設が存続できるようにしていただきたい。	地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることにより、安心して子どもを産み育てられる環境整備を進めます。 また、保育施設は、少子化が進む中で入所児童が減少に転じてきたことから、地域全体の保育需要や集団保育の必要性、施設の効率的な運営などの観点から公立保育所等の統廃合や民営化を進め、それぞれの役割を果たすために必要な施設規模や運営内容について関係機関と協議・検討を行います。

※委員15名中、15名より報告があったため、香取市子ども・子育て会議条例第6条第2項により会議が成立しました。

※書面による協議を実施した結果、すべての議案について承認されたため、香取市子ども・子育て会議条例第6条第3項により可決されました。